

報道機関各位

熊本大学

第10回 けんちく寿プロジェクト
「熊本大学学生会館のひみつ10」を開催します

熊本大学大学院先端科学研究部の田中智之教授らが実行委員を務める「けんちく寿プロジェクト*」は、建築の成長の過程と向き合いともに歩むことを目的として、建築の経年を人生に例えてその節目を祝うプロジェクトを毎年企画しており、令和2年10月に10年を迎えました。

第10回プロジェクトで取り上げる「熊本大学学生会館東光会館」は、2019年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」として **DOCOMOMO Japan****から選定されました。数えて55歳の節目を迎え、長きに渡り学生生活を支えてきたこの建築を、設計・保存・学術の三者の視点から紐解き、その歴史と未来について寿ぎます。当日は熊本大学長も出席し、表彰式、見学会、関係者によるテーマトークを予定しています。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いいたします。

*けんちく寿プロジェクト…熊本における建築の経年を人生に例え、二十歳や還暦などといった建築が歳を重ねてきた節目を祝うプロジェクト。 <http://kenchiku-kotobuki.com/>

**DOCOMOMO Japan…モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織。日本の近代建築の再評価のための活動を行うとともに、その保存活動に取り組んでいる。

<https://www.docomomojapan.com/>

記

【日時】令和3年3月13日（土）13：00～16：00

【場所】熊本大学学生会館（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40-1）

【対象】一般の方（興味がある方はどなたでも）ただし〔要事前申込〕定員50名

【参加費】無料

【申込方法】下記申込先に、E-mailにてお申し込みください。

氏名、所属、連絡先（メール・電話番号）をご記入ください。

けんちく寿プロジェクト実行委員会

E-mail：kenchikukotobuki@gmail.com

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。 <http://kenchiku-kotobuki.com/>

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院先端科学研究部 教授

担当：田中智之

TEL：096-342-3589

e-mail：tanaka@arch.kumamoto-u.ac.jp

第10回

けんちく^寿プロジェクト

熊本大学学生会館の ひみつ10

「熊本大学学生会館東光会館」は、2019年度「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」として、DOCOMOMO Japanから選定されました。

数えて55歳（もうすぐ還暦）の節目を迎え、長きに渡り学生生活を支えてきた本建築を、設計・保存・学術の三者の視点から紐解き、その歴史と未来について寿ぎます。

※DOCOMOMO Japanは、モダン・ムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織。日本の近代建築の再評価のための活動を行うとともに、その保存活動に取り組んでいる。

2021 **3/13** (土) 13:00 - 16:00

要事前申込

申込方法

A. QRコードを
読み取る→
（「けんちく寿」で検索）

URL : <http://kenchiku-kotobuki.com/index.html>

B. 下記連絡先に氏名・所属・連絡先
（メールアドレス・電話番号）を送信
E-mail : kenchikukotobuki@gmail.com



定員50名
入場無料

- 13:00 - 13:30 受付（開会までは自由見学）
- 13:30 - 13:50 DOCOMOMOプレート授与式
- 13:50 - ことぶかせ隊発表＋テーマトーク
（B棟2F大集会室）

テーマ「熊本大学学生会館の歴史と未来について」
コーディネーター 田中智之（熊本大学大学院教授）
トークセッション
鯉坂徹（DOCOMOMO 理事）、丹伊田穠（ロゴス設計同人）
西本志織（熊本ビル部）、野中建築事務所より数名

- 14:50 - 見学会

※新型コロナウイルス感染対策（検温・除菌等）を十分に施した上で開催いたします。参加の際は、マスクの着用をお願い致します。また、場合により中止となる可能性もありますのでご了承ください。



会場

熊本県熊本市中央区黒髪2-40-1
（黒髪北キャンパス内）

熊本大学 学生会館

<アクセス>
熊本駅から産交バス：楠里地 / 竜田口駅前 / 光の森産交行き等、または「桜町バスターミナル」経由「熊本大学前」にて下車



熊本大学学生会館（左：A棟、右：B棟） ©2019 熊本ビル部



建築家
野中建築事務所
二代目所長（1960～1991）
野中卓さんは「地方の建築家」にこだわり、熊本の風土と暮らしに合った建物の設計に専心している。そのことは建築界はもとより、熊本でも十分認識されていたようで熊本大学工学部建築学科での講師も務めるなど、その存在感は別格だった。（引用「野中建築事務所」の建物）

設計者：野中 卓氏
（1927～1991）

主催：けんちく寿プロジェクト実行委員会 協力：野中建築事務所

主な作品：熊本相互銀行子飼橋支店、熊本市水の科学館など

けんちく **寿** プロジェクト

[趣意書]

建物の誕生は、夢が叶い期待が膨らむ初々しくも喜ばしいできごとです。そのお祝いは盛大に行われ、おそらくその建物にとって最も晴れがましい瞬間でしょう。我々も大いに注目し、話題にするのはこの新築時です。そして、次に注目を浴びるは、取り壊しや建て替えの頃だというケースも少なくありません。

しかし、その間の経年の様子は、見過ごされがちで、現役で活躍中の建築の姿には、あまり目を向けてこなかったような気がします。そのような中であって、我々は、熊本における建築の経年を人生に例え、二十歳や還暦などといった建築が歳を重ねてきた節目を祝うプロジェクトを始動することにしました。

その祝いの会では、建築の見学会や関係者・ゆかりの方々からのお話やメッセージをいただければと思っております。

そうして、建築の成長の過程と向き合い、ともに歩むことで、その建築が最期を迎えるときは、それまでの月日を労って送れるような、“建築との仲” になれればと願っています。 (2010年10月 けんちく寿プロジェクト実行委員会)

[これまでの活動]



第1回 (2010年12月4日)

「北署※」の二十歳を祝う ※現熊本中央警察署
建物ができるまでの過程を披露するなど、見学会や設計関係者による座談会を通して二十歳を寿ぐ。



第2回 (2011年11月12日)

二つの医師会館建築を寿ぐ
熊本市医師会館・看護専門学校校の誕生と、熊本県医師会館の厄晴 (43歳) を寿ぐ。



第3回 (2012年12月1日)

熊本通信病院※を寿ぐ ※現くまもと森都総合病院
『通信建築と山田守』を主題としたテーマトークや見学会により、もうすぐ還暦 (56歳) を寿ぐ。



第4回 (2013年12月7日)

「九州学院高等学校講堂兼礼拝堂」の卒寿を祝う
見学会や設計者にまつわる映像鑑賞を通して卒寿 (数え年で90歳) を寿ぐ。



第5回 (2014年1月10日)

「熊本県伝統工芸館」の厄晴れを寿ぐ
普段入ることのできない諸室も含めた建物の見学会やテーマトークにより、女性の厄晴れ (34歳) を寿ぐ。



第6回 (2016年1月9日)

八代市立博物館「未来の森ミュージアム」を寿ぐ
普段見れない諸室見学会とテーマトークにより、男性の小厄 (25歳) を寿ぐ。



第7回 (2017年3月5日)

「孤風院」の復旧・復興をお手伝いします
例年と異なり、建築の暦を祝うのではなく熊本地震を乗り越えた孤風院の復旧・復興のお手伝いを実施。



第8回 (2018年3月16-18日)

花畑町別館にまつわる6の問いかけ
解体された熊本市役所花畑別館 (旧熊本貯金支局) の残された部材の展示を通して建築を語り継ぐ。



第9回 (2018年2月16日)

熊本駅の現在と未来を寿ぐ
熊本駅周辺の見学会と設計者 西沢立衛氏による講演会を実施し、熊本駅の現在と未来を寿ぐ。

2021年1月 けんちく寿プロジェクト実行委員会

けんちく寿プロジェクト OB
ことぶかせ隊

西嶋公一 オフィス・ムジカ
西郷正浩 崇城大学工学部建築学科教授
田中智之 熊本大学大学院教授
志垣孝行 西田真浩 沖雄大 吉海雄大
熊本大学田中研究室 学生